

平成21年度協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日	
団体名	NPO法人ファミリーねっとスマイリ	平成22年3月23日	
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>	

協働事業名称	クリスマス すまいりコンサート		
協働事業の概要	孤立化しやすい現代の子育て中の親子が楽しみを「共有」することができる場(クリスマスイベント)を提供する。 「クリスマスすまいりコンサート」の実施 ・日時：平成21年12月17日(木)午前11時～午後1時30分 ・場所：西文化会館ホール ・参加人数：132人(参加58組+参加追加分のお子さん16人)		
協働事業の決算額	116,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年12月17日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	2	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	2	2.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	2	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	2	3

合計点数	50 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 アンケート調査において、好評の結果を得ており、効果的に子育て中の親子交流や情報交換等の場を提供することができたと考えている。
【市民活動団体等】 すまいりコンサートは今年で5回目、市民に還元する事業として協働で持つ意味は、金銭面に頼る部分が多い。またお互いにメリットが無ければ、協働の意味も無いと思う。すまいりコンサートは毎年やらなければ、子育て親子には何の楽しみもなく、せめて年一回元気になるイベントを提供したい。みんなが笑顔でいてくれたら・・・赤字事業だけやって良かったと想いたい。これからも、行政の力を借りながら、すまいりコンサートは継続していきたいと思う。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 親子のふれあいの場づくりという目的は公共性が十分にあり、協働事業に適しています。今後、協働事業を継続していくうえで、財政的な基盤の強化など赤字を少しでも解消する策を考えていくことが望まれます。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	福祉部 保育課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	野田町一丁目自治会		
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	自治会館を利用した子育て支援事業		
協働事業の概要	自治会館の一部を活用して「地域による子育て中の親のための育児支援」を実施。 平成21年11月2日から、週3日(月~水)の午前9時から午後5時まで、自治会館の和室(約12畳)を開放して「地域子育て支援事業」を開始した。運営は、利用者の自主管理、自己責任を前提として開始されています。		
協働事業の決算額	30,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年11月2日~		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	2	2	2
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	4	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	3	3
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	2	2	2
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	2	3
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	2	2.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	3	3

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	3	3	3
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	2	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	3	3	3
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	3	3
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	2	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	3	3

合計点数	39.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 自治会集会所を今回の協働事業のように、地域のための活動の場として積極的に活用していただくことは市としても望ましい。 今後も利用者を増やす活動等について、継続して実施していただきたいと思えます。</p> <p>【市民活動団体等】 今後の在り方に、この思いを十分に反映していきたい。必要性を感じていて、この情報に触れていない母子の隠れた層の掘り起こしを十分に行い、この事業効果を最大に発揮できるように今後も頑張りたい。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 地域活動の一環として重要な事業です。参加者を増やす方法や運営方法などの課題について、行政と相談しながら進めていってはいかがでしょうか。</p>		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	環境部 環境政策課	記入年月日	
団体名	福原ファームクラブ	平成22年3月19日	
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>	

協働事業名称	親子で知るやまの楽しみ（循環型農業）		
協働事業の概要	<p>親子に雑木林の手入れ、農作業、とれた作物を材料にした食事を体験していただき、環境保全型農業に対する理解を深めていただくとともに、市民が一体となった環境保全型農業の促進と雑木林の保全の取組に発展させていくことを目的に実施した。</p> <p>【実施内容】 平成21年12月20日（日）農作業体験と芋煮、その後福原の農業の成り立ち等の説明を受ける。参加者38名 平成22年1月16日（土）雑木林の手入れと落ち葉はき。豚汁と焼き芋を食べる。参加者38名</p>		
協働事業の決算額	47,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年12月20日 ~ 平成22年1月16日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 情報交換・情報提供 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	3	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	3	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	2	2.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	3	3.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	3	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	2	3	2.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	4	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	2	3	2.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	50 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>この事業をきっかけに雑木林等の保全活動に従事できる者を増やし、環境保全型農業の促進と雑木林の保全につなげていくためには、継続的に事業を実施していく必要があると思います。</p> <p>より多くの市民が参加できるように、市がもっと事業のPRをする必要があります。また、環境保全型農業や雑木林の保存に対する理解をできるだけ多くの市民に広めていくために、親子以外の方でも参加できるようにしていただきたい。</p> <p>【市民活動団体等】</p> <p>福原ファームクラブは公民館講座からはじまり、10年となります。「キーワード」は「循環型農業、子ども、地産地消、川越、食育」とし、川越らしい雑木林の保存に関わる活動をしています。月1回の年間を通した活動で、ほんの少しの活動ですが長く続ける事を目標にしています。環境面でも農業が見直されている現在、地元の農家を大切に「ファンクラブ」的に農作業支援が出来る活動にしていきたいと思っています。川越市との協働事業として行っていくのは、川越の新住民にとって参加しやすく、信頼の置ける事業となると期待しています。</p>
--

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】		B
循環型農業の体験という内容には公共性があり、川越ならではの雑木林を保全していくうえでも大事です。周知を図り、多くの市民が参加するようになれば、よりよいものになるのではないかと思います。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	都市計画部 都市計画課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	川越織物市場の会		
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	歴史まちづくり法を活用したまちづくりの調査研究		
協働事業の概要	歴史まちづくり法シンポジウムを開催し、この法律の川越市における活用の可能性について調査研究し、かつ、広く市民にこの法律の活用の可能性について周知する事業の実施。 歴史まちづくり法シンポジウム 日時：平成21年11月7日（土） 場所：茶陶苑（山崎亀屋茶店・大蔵）、参加者数：約120名 パネリスト：脇坂隆一（国土交通省公園緑地・景観課）、笠原隆（文化庁伝統文化課）、浅野聡（三重大学大学院准教授）、桜川市関係者		
協働事業の決算額	165,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年11月7日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 情報交換・情報提供 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	5	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	68 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 本事業は歴史まちづくりに関する計画を策定するトリガーになりました。これをきっかけに行政としても、計画づくりに弾みがつくと考えています。また、当団体のメンバーはまちづくりに精通した人材が多く、市外の行政職員も参加するなど、有意義な意見交換ができました。さらに、市民のまちづくりに対する熱い思いを国職員に直接アピールすることができたことは大きな成果であると認識しています。</p> <p>【市民活動団体等】 行政と協力協働することによって、非常に豊富な内容となった。今回の協働事業補助金制度は、時宜に適したもので、きわめて有効であった。今後は、今回の経験を踏まえ、行政との協力協働を進めていきたい。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 川越において歴史・文化を活かしたまちづくりは極めて大事であり、まちづくりを協働事業として実施することは意義あるものと思われる。市民の意識を高めるために主体的な権力を持たない民間団体がこのような事業を行うことは適当と認められ、市民の目線に立ったまちづくりを考える場をつくらうとする点においても優れています。川越市以外の行政を巻き込んで実施したシンポジウムは、歴史まちづくり法の導入にはずみをつけることができたのではないのでしょうか。</p>		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	市民部 青少年課	記入年月日	平成22年3月19日
団体名	NPO法人地域と教育		
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	「110番の家」が子どもやおとなにとって、ふれあいの中核となる試み		
協働事業の概要	学校や「110番の家」を起点として、「防犯」と「防災」を皆で考え、あわせて、そのために必要な地域住民の連帯・交流を図るため、子どもたちによる地域の「110番の家」巡り、バケツリレーなどを内容とする防災運動会を実施。 日時：平成21年10月31日 9時から15時 場所：高階北小学校及び同小学校区で実施。 参加者-学校(教職員)11名、PTA・子ども育成会45名、おやじの会36名、自治会・婦人会43名、近隣住民80名、高階北小生徒561名(含川越消防組合署員5名)参加者合計776名。		
協働事業の決算額	135,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年10月31日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 情報交換・情報提供 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	3	2.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	3	3
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	3	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	4	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	4	3.5

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	3	3.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	3	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	3	3.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	3	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	47点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
子ども110番の家を、緊急事態発生時に機能させるためにも、今回の試みは子どもたちにも分かり易く、その認知度を高めるために効果的だったと思われます。また、受け入れ世帯と子どもたちのコミュニケーションの強化を図ることで、普段からお互いが顔を知っているなど、距離感を縮めておくことは大変有意義といえます。子ども110番の家の看板を本当に生かしていくために、今回の実施団体のアイデアと行動力は、協働事業の趣旨に沿ったものと思われます。
【市民活動団体等】
地域には、目的をもち集まるアソシエーションと旧来から地域に存在するコミュニティの双方が活動しています。その双方が同じ方向を見、意思疎通をはかることは、今日、大きなテーマとなっています。このテーマを解決するための小さな一歩が今回の事業でした。高階北小教職員、高階北小PTA、高階地区の6自治会、子ども110番の家、高階北おやじの会等々。紆余曲折はありましたが、ひとまず、この事業に皆さんが参画したという事実はこの地域の軌跡として残ります。その軌跡がこの地域の人の記憶から去ることがないように、この事業及びさらなる絆づくりのための事業展開に向け、アソシエーションとコミュニティの協同、討議と実践をはかってまいりたいと考えます。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 C
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】		
小学校を中心に地域の団体や住民が集まって、防犯や防災のための地域コミュニティを作るイベントの開催は協働事業に適しています。今後は団体と行政の役割分担を明確にすることで、より効果的な事業運営ができることと思われます。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	産業観光部 中心市街地活性化推進室	記入年月日	平成22年3月17日
団体名	アルテクルブ		
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
協働事業名称	アートによる地域ネットワーク促進事業		
協働事業の概要	2008年度に開催されたアートイベント「あるってアート2008」を発展させ、活動の公共性と継続性をねらい、地域のネットワークを広げる目的でシンポジウムを開催する。 シンポジウム「あるってアートで こどもたち壁画描く」開催 開催日時：平成22年2月20日（土）午後2時から午後4時30分 開催場所：川越市産業観光館（旧鏡山酒造ギャラリー） 第1部：講話（木谷安憲氏、田中晃氏） 第2部：座談会（パネリスト：木谷安憲氏、田中晃氏、司会：小野寺優元氏）		
協働事業の決算額	100,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年2月20日		
協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	3	3
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	4	4
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	5	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	60 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

- ・アルテクルブは、新しいアーティストを発掘し展覧会を行う等の芸術分野の活動のみならず、芸術・美術の視点で市民主体のまちづくりを推進している団体です。
- ・この分野は、行政に不足しがちな分野・視点でもあります。
- ・今後も活動を通して得られた情報等を提供していただきたいと思います。

【市民活動団体等】

- ・今回会場としてお借りした旧鏡山酒造ギャラリーは、小規模のシンポジウムやアート展を行うに適しています。これまでも当会は、様々なアートイベントを通してその場所の持つ空間特性等を示してきましたが、今後も行政と協働し、アートイベントやそれを検証するシンポジウムを通して、旧織物市場や旧鶴川座などの使われ方を提案し、多くの市民の皆さんと共有できるアートイベントの開催を目指したいと考えています。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

	評価結果
A 当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B 当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C 当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D 協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】	
芸術・文化に関する団体が座談会の人選などソフト面、行政が会場提供などのハード面を受け持つという役割分担の下、理想的な協働事業が開催できました。このような形式が増えて、川越のまちづくりがもっと推進できることを望みます。	

平成21年度協働事業評価シート

部課名	産業観光部 観光課	記入年月日	平成22年3月18日
団体名	NPO法人川越蔵の会		

予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	体験！川越の職人の技		
協働事業の概要	普段あまり接点のない職人さんの仕事を体験することにより川越の文化に対する認識を深めてもらい、川越文化のさらなる発展に資することを目的に下記の体験事業を実施した。 体験！川越の職人の技 日時：平成22年10月25日(日)、場所：旧川越織物市場中庭 ・大工：鉋がけ、鋸挽き等による写真立ての制作 ・鍛冶：ペーパーナイフづくり、木挽き職人が使う大鋸の丸太切り ・庭師：竹垣づくりの実演、かけを使った一輪ざし、シュロを使ったトンボの制作		
協働事業の決算額	125,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年10月25日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	3	3
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	4	3.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	3	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	3	3	3
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	3	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	50.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>参加者の様子から伝統技能に対する関心の高さがうかがえた。ぜひ、広めてほしい事業であると認識し、同時にPR不足も感じた。未活用施設の存在をアピールする機会になると思われた。かかわったものが、その場でなくなってしまうのではなく、後から確認できるようなものであることも検討したい要素である。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>民側の単独で実施しようと準備していた事業が、途中から協働事業となったことで、官側のほうで面喰った感がゆがめないのではないかと。特に準備期間が1カ月程度であり、民側のシナリオに沿って実施したのが実情であった。その意味で、民側は、資金面や広報面で非常に役立ったと感じている。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>イベント開催に精通している団体が主導しているため、体験の事業としては素晴らしいものがあります。団体の自主事業で開催しても、多くの成果が残せると思われるため、今後は協働事業として行政とどのような役割分担を行っていくかが重要であると思われます。</p>		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	教育総務部 生涯学習課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	蓮馨寺落語会世話人会		
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	庶民の伝統文化落語の振興事業		
協働事業の概要	歴史と伝統のまち川越において、落語の発展に寄与するとともに地域の活性化、文化的な振興を図るため、伝統的な話芸「落語」の地域寄席を開催する事業 蓮馨寺落語会(午後6時開場、6時半開演、8時30分閉会) 1.平成21年10月30日(金) 参加者70名 演者:古今亭志ん八、三遊亭遊喜、三遊亭窓里 2.平成22年1月15日(金) 参加者65名 演者:古今亭志ん八、三遊亭窓輝、三遊亭窓里		
協働事業の決算額	121,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年10月30日 ~ 平成22年1月15日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 情報交換・情報提供 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	2	2	2
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	2	2
3	事業目的を共有することができましたか。	前	2	2	2
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	2	2.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	2	2
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	2	2	2
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	2	3

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	2	3
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	3	3.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	3	3.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	2	2	2
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	2	2.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	2	2.5

合計点数	36.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 事業内容自体は、伝統芸能の継承、鑑賞という文化的な価値の高いものと考えられますが、情報共有や相互理解が十分とは言えず、その点については、課題であると考えます。事業の実施に先立ち情報共有などがなされていれば、よりお互いのメリットを生かした形での事業ができたのではないかと思います。
【市民活動団体等】 協働とは、行政と市民(団体)が役割を分担し、目標に向かって一緒に汗を流し活動することが大事であると考えます。そうであるとしたら、市民からの提案が適切かどうかの判断については、共に汗水流すかもしれない担当部署にも協働の意識がなければ成立しないのではないのでしょうか。提案団体と担当部署が事業の目的を理解し、互いの役割の必要性を確認しあう必要があるのではないのでしょうか。 今回の協働事業は、期間が限られたため行政側との話し合いがなかなか出来ず、「風とおし」の良い事業ではなかったように感じます。 22年度に同じような提案型事業に参加できる機会があれば、再度挑戦してみたいと考えます。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 C
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 落語を含む芸術・文化の分野は、協働が効果を発揮しやすい分野であると思われる。ただ、この事業については団体に十分なノウハウがあり、入場料もある程度徴収しているので自主的に運営できるのではないのでしょうか。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	市民部 市民活動支援課	記入年月日	
団体名	NPO法人協議会	平成22年3月20日	
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>	

協働事業名称	地域交流創造フォーラム		
協働事業の概要	新しい地域の創造をテーマにした講演やパネルディスカッションを通して、意見交換や交流を図り、地域コミュニティのあり方を考えることを目的とする。 『地域交流創造フォーラム』の開催 ・日時：平成22年2月7日（日）午後1時30分～午後4時30分 ・場所：川越市民会館2階会議室 第1部講演、テーマ「川越市における市民活動について」 講師：笹森清 氏（NPO法人地域創造ネットワーク・ジャパン副代表） 第2部パネルディスカッション、テーマ「川越市の地域社会を考える」		
協働事業の決算額	46,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年2月7日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	3	3.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	3	2	2.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	4	3.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	5	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

（評価のつづき）

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	4	3.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	3	3
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	4	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	50.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>「地域交流創造フォーラム」は、NPO法人協議会で初の事業でありNPO法人同士の連携が強まったと思います。 今後、NPO法人協議会がそれぞれの団体の活動を相互に理解・協力しながら地域課題の解決に向けてそれぞれの特色を活かして活動していくことを期待します。 また、行政側でも協議会の活動に対等な立場で協働していくために、相互の情報共有をしていくことが必要であると思います。</p> <p>【市民活動団体等】</p> <p>・川越市内のNPO法人の把握から始め、4回にわたる話し合いの場を通して、仲間づくりと、各団体の方針や課題などを共有することができ、今回の協働事業を実施するに至った。これまで個人で取り組んでいた課題が、会としてまとまることで組織的に動くことができ、運動体として広がりが期待できることを理解できた。 ・市の協働事業に対する考えや協働指針について理解することができ、今回のフォーラムの開催により、会として次の段階へ踏み出すきっかけになった。</p>
--

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>NPO法人が協力して地域交流を図る活動は、市民への周知や情報交換などの効果をもたらし、協働を推進するうえで重要です。財政的な面など課題はあると思われませんが、今後も同様の取り組みを続けるようお願いいたします。</p>		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	教育総務部 生涯学習課	記入年月日	
団体名	童謡アルバム実行委員会	平成22年3月10日	
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>	

協働事業名称	次世代の為の童謡普及事業		
協働事業の概要	親から子どもへ昔から日本の大事な文化を童謡を通して知り歌いつないでほしい為、赤ちゃんがはいはいしたり、ミルクを飲ませながら参加できる場所として川越幼稚園を会場に毎月1回土曜日午前10:30~12:00 全6回開催。 大人一人500円(子供無料)。 光信幸恵がピアノ&歌でリード、レクチャー。用意したテキストで参加者全員で楽しく歌う。		
協働事業の決算額	116,000円	円	委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成21年10月31日 ~ 平成22年3月27日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	2	2	2
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	4	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	2	2.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	5	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	5	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	5	4

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	2	3	2.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	5	5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	3	3

合計点数	54点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】 有意義な事業でありますので、事業の実施前の時点で、もう少ししっかりと打ち合わせをさせていただきたかったと思います。
【市民活動団体等】 ・主催者側としては大変良い提案であったと思います。 ・参加者は大変感激されました。 ・共に(市と主催者)がタイミングよく広報誌、ポスター、チラシ等を通じ、市民の目にとまり、ご参加いただきたかった。(知らない方々が多かったようでした。)

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 C
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 次世代に童謡を伝えていくことには公共性があり、今後も実施していくことが重要ですが、今回は協働によるメリットが発揮できなかったようです。参加者を増やすための広報活動など、役割分担を団体と行政でもう1度話し合う必要があるのではないのでしょうか。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	教育総務部 生涯学習課	記入年月日	平成22年3月19日
団体名	NPO法人子ども大学かわごえ		
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>	
協働事業名称	子ども大学かわごえ学園祭「こどもがつくるまち「ミニかわごえ」」		
協働事業の概要	子ども大学かわごえ教育方針の一つ「生き方学」の体験版として、子どもたちが主人公として川越市のミニチュア版「ミニかわごえ」のまちづくりをし、そのなかで職業活動をするにより市民としての体験学習をする催しを実施する。 「こどもがつくるまち「ミニかわごえ」」の開催 日時：平成22年3月13日(土)、14日(日)午前10時～午後4時 場所：蓮雀町(蓮聖寺境内) 参加者(子どもの参加人数 延べ約800人程度 市民登録者数596人)、 (大人を含めた全参加人数 約2,000人程度)		
協働事業の決算額	200,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年3月13日・14日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 情報交換・情報提供 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	5	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	5	5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数 68.5 点

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
 初めての事業でしたが、大成功の内に終われたと思います。

【市民活動団体等】
 グループ内部の結束と外部関係者の積極的協力により、事業は予想以上に成功した。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

	評価結果
A 当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B 当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C 当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D 協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 2日間で2,000人の参加があったことは、高く評価できます。職業活動をテーマにした体験学習は学校教育を補完するという意義があり、小学生から高校生までの広い範囲を対象に内容もよく考えられていて、今後、拡大してほしい事業です。「川越らしさ」が加わると、さらにより事業になると思われます。	

平成21年度協働事業評価シート

部課名	福祉部 障害者福祉課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	NPO法人らぶ・あいず		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	視覚障害者によるコンサート		
協働事業の概要	「らぶ・あいずコンサート」の実施 日時：平成22年3月6日（土）14：00～15：30 場所：埼玉県立特別支援学校埼玉一学園 寄宿舎プレイホール 指 導：山口伊助先生 ゲスト：金子ヨリ子先生（ピアノ） 参加者数：30名 視覚障害者が日頃音楽教室で学んだことを発表するコンサートを開催し、合唱や合奏、ピアノ演奏、指導者による歌など。		
協働事業の決算額	21,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年 3月 6日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	2	2	2
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	3	2.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	2	2	2
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	2	2	2
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	2	2
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	2	2	2
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

（評価のつづき）

	評価の視点		評 点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	3	3
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	45.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 相互理解、連携、情報共有の部分へ時間を割くことが出来ず、「協働」の理念に即した事業へと発展することは出来なかったよう感じる。しかし、当該事業の目的でもある「多くの市民に視覚障害者をしてもらう」ことは、評価に値する事業を展開できたと感じる。今後も視覚障害者を、より広く知っていただく活動のさらなる飛躍を期待している。</p>
<p>【市民活動団体等】 市民活動支援課の方には初めてということもあり、大変ご配慮頂きました。しかし、窓口障害者福祉課の方には、残念ながら協働の意味を私たちと同じように捉えて頂けなかったという印象をもちました。障害者福祉課にはポスター・チラシなどを貼って頂くことしかお願いできませんでした。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 C
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 視覚障害者が音楽的な発表をすることは、市民の障害者に対する理解を促進するために大事です。団体と行政が役割分担について、より話し合いを持てば、協働事業としても磨きがかかるのではないのでしょうか。</p>		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	市民部 市民活動支援課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	NPO法人川越市北部地域ふれあいセンター運営協議会		
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	「山田地区伝統芸能まつり」と地域交流		
協働事業の概要	平成21年10月～ 地元の伝統芸能団体が地域の子どもに稽古を開始し、技術伝承を行った。 平成22年2月28日（日） 『山田地区伝統芸能まつりと地域交流』を開催 気軽に地域住民が参加できる場を設け、技術伝承を発表する場とした。 ・開催場所：川越市北部地域ふれあいセンター ・参加者数：300名程度（参加団体を含む。） 参加団体、石田はやし連、上寺山ささら獅子舞、府川はやし連、石田ささら獅子舞、北山田囃子保存会、福田ささら獅子舞		
協働事業の決算額	162,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年10月～平成22年2月28日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	3	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	3	3.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	4	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

（評価のつづき）

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	3	3	3
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	4	3.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数 57.5 点

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
 今回の協働事業の実施により、地域に根づく伝統芸能について、地域住民の理解もより深まったと思われます。
 また、稽古を通じての技術伝承も行われているため、地域で活動する伝統芸能団体そのものの活性化につながるものと考えています。

【市民活動団体等】
 事業全般を通して、地域コミュニティ活性化につながる自主的な事業が実施でき大変満足できるものとなった。
 地域の郷土芸能団体との調整が難しいが今後も継続して実施していきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
【事業に関するコメント】 地域の伝統芸能を後世に伝えていくことは、公共性も強く、非常に大切なものです。今後も継続することが大事であり、行政との協力体制を密にすることが望まれます。		

平成21年度協働事業評価シート

部課名	福祉部 障害者福祉課	記入年月日	平成22年3月24日
団体名	NPO法人 あいアイ		
予算事業名	協働の推進(提案型協働事業補助金)	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	展示用2t車による移動式展覧会		
協働事業の概要	団体に所属する知的障害者が作成した絵画について、展示用車両を使い移動式展覧会を行うことによって、幅広く作品を見てもらう。 1回あたり20作品、2時間、半日、1日のいずれかのプログラムで展示。 川越産業博覧会、川越唐人揃いほか25箇所に参加、展示を行った。		
協働事業の決算額	200,000 円	委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成21年10月7日 ~ 平成22年 3月13日		

協働の提案者	川越市からの提案	市民活動団体等からの提案	
協働の形態	補助・助成 実行委員会・協議会	共催 協働委託 事業協力	後援 企画・計画立案への参画 情報交換・情報提供

【協働事業評価について】

評価基準... ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	2	4	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	2	3	2.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	2	3	2.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	2	3	2.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	2	3
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	2	5	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

(評価のつづき)

	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	3	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	4	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	4	3.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	47.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>「協働」を意識した行動を、連携を保ちつつ行うことが出来なかった。しかし、当該事業の飛躍には目を見張るものがあります。また、上海万国博覧会へ参加が決まったことを祝福するとともに、世界的な活躍に期待します。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>本件が、多くの新聞やテレビなどのマスコミ報道され、そして、問い合わせを多く頂きました事に驚き、また感謝しました。 訪問先の皆様が、小さな画伯(障害者アーティスト)たちの作品を参観中、感激の涙を、励ましの拍手を頂きました。 今後共、絵画や創作活動を継続していきます。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>障害者に対する市民の理解を深める上で意義があり、協働事業として今後も続けていくことが望まれます。</p>		B